

森川・竹山組が優勝

ミックス大会 黒瀬・川口組を下す

第20回ミックスダブルス大会は6月29日(日)市民公園Aで開催。今回から1・2部制

廃止。参加46組。前年準Vの森川・竹山組と、2度目の優勝を狙う黒瀬・川口組の決勝

は、森川・竹山組が6-4で競り勝って初優勝。コンソレは加藤昌・吉井組が優勝した。

(2面(続く))



昨年準Vの悔しさを晴らし初優勝した森川・竹山組(前右)、2度目の優勝を目指した黒瀬組(前左)は準優勝。下林・高木組(後左)は3位。後右は3位の信永・糸組



コンソレ優勝の加藤昌・吉井組(前左)、準優勝の加藤渡・石川組(前右)、3位の野口・山崎組(後右)と稲垣・橋本組(後左)

優勝=森川 繁・竹山 桂子組 (愛牧・BRIO)

準優勝=黒瀬 達也・川口 綾組 (ARD)

第3位=下林 直人・高木 淳子組 (フリー協会)
信永 尚人・糸 昭恵組 (フリー)

コンソレ優勝=加藤昌也・吉井麻津子組 (NAS)

準優勝=加藤 渡・石川千里組 (ロング・ロング・ロング)

3位=山崎正史・野口由紀子組 (丸新)
稲垣将樹・橋本明子組 (MATC)

「ミックス大会成績」

3位 下林・高木組 と 信永・糸組

9時集合。本戦は3決めの46試合。待ち時間短縮のため時差召集。6個面3巡の試合順19番以降(2回戦途中)は10時半集合としたが、少々混乱。前年準優勝の森川・竹山組が第1シード、前年3位の大脇夫妻組が第2シード。

準決勝は森川・竹山が11年覇者の下林・高木組に6-2で打ち勝って決勝進出。08年覇者の黒瀬・川口は信永・糸組に6-4で競り勝って決勝へ。

互いに疲れが見える中、森川・竹山が6-4で勝って初優勝した。3決は下林・高木の6-5時点で信永・糸が棄権。

コンソレは加藤・吉井V

初戦敗者によるコンソレ・シヨンは23組が出場。決勝は加藤昌・吉井組が加藤学・石川組を下して優勝。3決は山崎・野口組がタイブレードの接戦を制した。

《ミックス大会 戦績》



《ミックス大会 歴代優勝ペア》

- 第1回 95年 高木 順・高木 淳子
- 第2回 96年 加藤 稔・橋本 正子
- 第3回 97年 藤嶋 和男・日比野 千歳
- 第4回 98年 高木 順・高木 淳子
- 第5回 99年 久田 時彦・久田 裕美
- 第6回 00年 菅野 英男・長江 勝子
- 第7回 01年 横山 高雄・加藤 由美
- 第8回 02年 横山 高雄・長谷川 純子
- 第9回 03年 紀平 裕介・長坂 有希子
- 第10回 04年 田中 稔・高木 淳子
- 第11回 05年 加藤 智之・飛山 るみ子
- 第12回 06年 山本 尚史・大島 千沙子
- 第13回 07年 下林 直人・遠藤 美紀子
- 第14回 08年 1部＝黒瀬 達也・川口 綾
2部＝古賀 昭一・小出 かおる
- 第15回 09年 1部＝山本 尚史・柴山 千沙子
2部＝加藤 稔・木部 文恵
- 第16回 10年 1部＝山本 尚史・柴山 千沙子
2部＝大脇 敬治・大脇 ちとせ
- 第17回 11年 1部＝下林 直人・高木 淳子
2部＝河本 政義・清谷 千佳
- 第18回 12年 1部＝河本 政義・清谷 千佳
2部＝岩成 洋平・岩成 育久子
- 第19回 13年 1部＝村井 清隆・原田 沙知
2部＝富田 一行・水木 洋子
- 第20回 14年 森川 繁・竹山 桂子



昌也・ヨッシン「裏街道」突っ切った

この混復大会、協会員の要望で08年に設けた2部は、1部出場者の減少もあり、今年から廃止。コンソルを充実させて2部の代替とした。強豪ぞろいの激戦ブロック1回戦で本戦準優勝の黒瀬・川口組に敗れた加藤昌・吉井組がコンソルを勝ち上がり、6-3で押し切り「裏街道V」。

◆すごいぞ 杏奈、彩花
すごい女子が2人。本戦で初戦突破し、2回戦で惜敗した水野永野組(フリー)の杏奈は素晴らしいプレイヤー。また、すぐ隣で1、2回戦快勝の森本・鈴木組(フリー)の鈴木彩花も「本物」だ。直接対決もあり得たが、共に岩成夫妻に上位進出を阻まれた。敗れたとはいえ、この若い2人はじりじりと光っていた。

◆試合順19番以降の集合時刻を遅らせた時差召集、ドロー番号と試合順の勘違いを懸念したが、案の定。大会終了は6時半過ぎ。

今後の日程

★ナイターテニス教室
7月26日までの土曜4回。午後6時～9時。市民公園A。予備日=8月9日(土)。

★第24回瀬戸地方高校生新人大会
7月28日(月)、29日(火)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市民公園A・B。瀬戸市近郊の高校生。男女単・複。参加費=1人800円。予備日=7月30日(水)。学校関係者に案内。

★瀬戸協会一尾張旭連盟対抗戦
8月17日(日)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市民公園A。協会員誰でも出場OK(役員にお申し出下さい)。無料。昼食提供。遅刻・早退可。男子複、女子複、混合複の通算成績を競う親睦団体戦。予備日=8月24日(日)。

★第25回瀬戸市テニス選手権
8月31日(日)午前9時～午後5時(コートは午前7時～19時確保)。市民公園A・B。男女シングルスのみ。市内在住在勤または協会員。先着男子64人、女子32人募集。参加費=1人1,000円(協会員も有料)。受付=7月15日～8月13日。予備日=9月14日(日)。7月15日付広報掲載。

★第9回100歳ダブルス大会
9月20日(土)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市民公園A。市内在住在勤または協会員。今年末年齢合計で男子複=100歳、女子複=80歳、混複=90歳以上。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=8月15日～9月3日。予備日=9月27日(土)。8月15日付広報掲載。

★第8回レディースピギナー大会
10月1日(水)午前9時～正午頃。市民公園A。ダブルス。市内在住在勤または協会員女性で初心・初級者対象。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月3日～9月17日。予備日=10月8日(水)。9月1日付広報掲載。

★秋季テニス大会
10月12日(日)午前9時～午後5時(コートは午前7時～19時を確保)。市民公園A・B。ダブルス。男女1部・2部・壮年。市内在住在勤者または協会員。学生は参加できません。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月1日～9月24日。予備日=10月19日(日)。9月1日付広報掲載。

日中の暑さを避けたナイターテニス教室が7月5日、市民公園Aで始まった。今夏の受講は26人。土曜4回・18時～21時。7月26日まで。予備日は8月9日。

技量に応じ、自己申告で初級・中級・上級の3クラスのほか、中学生以下クラスも。基本知識・技術から実戦ダブルスまで、ナイター照明の下、熱い汗を流している。

ナイター教室 熱く始動

7月・8月の練習日

(すべて市民公園A)

7月16日(水)19時～21時 3個面
23日(水)19時～21時 3個面

8月 6日(水)19時～21時 3個面
<予定=「教式」の予備日で開放待ち>
10日(日) 9時～13時 3個面
13日(水)19時～21時 3個面
20日(水)19時～21時 3個面

[7月当番理事]
久米孝幸(責任者)、久米沙織、松元一彦
[8月当番理事]
近藤峰夫(責任者)、石川 均、高木淳子

コーチ招き効果的教え方学ぶ 指導者講習会



瀬戸テニス(市内見付町)のコーチを招いて効果的な練習法・指導法を学ぶ「指導者講習会」を6月7日、14日の土曜2回、午後5時から市民公園Aで開いた。教室でコーチ役を務める協会役員・理事をはじめ約20人が参加。矢野

典博コーチから1日目はストロークとボレーを中心に、最終日はスマッシュ、サーブなど2時間の手ほどきを受け、7時からはコート開放。自由練習し時に散会。(写真は指導者講習会に集まった協会員たち・6月7日夕6時ごろ)

レディース教室 腕上げて修了

4月9日スタートしたレディース教室が6月11日に終わった。受講者8人。毎週水曜8回、市民公園Aで午前9時から2時間ずつ練習。ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブを学び、後半はダブルスの練習に取り組んだ。最終日は小雨の中、ダブルスゲームを楽しみ、修了証を手渡して2か月の教室を閉じた。

瀬戸信で振り込みできます

継続会員の方は年会費3,000円を忘れずに納入して下さい。瀬戸信用金庫での振り込みもご利用ください。
店番008=共栄支店 口座番号0269862
瀬戸市硬式テニス協会

手数料がかかる場合があります。
※振り込み手数料=共栄支店口座への共栄支店窓口での振り込みは無料。本店または他支店窓口での振り込みは315円。共栄支店でのATMでの振り込みは無料。本店または他支店からのATMでの振り込みは手数料105円が必要です。

2度目の優勝



男子複

川西・高島組が連覇

女子複は
稲垣・橋本

市民大会 男子単

第65回市民大会テニスは5月25日(日)、市民公園、東公園などで開催。一般男子単決勝は加藤智之(ととも)が高木亘紀(協会)を6-3で下して2度目の優勝。シニア単は亘紀の母・高木淳子(協会)が林浩次(同)に快勝。男子複の川西秀大・高島基裕組(MATC)とともに2連覇を達成。女子複は3組リーグの末、稲垣陽子・橋本明子組が初V。ミックスは川西健太・育子の母子ペアが同僚対決を制して初優勝した。パバ、足ついても強かった。男子単03年の覇者・加藤が久々の出場。バックハンドスライスを軸に攻

ながら、要所を締めて順当に勝ち上がり、準決勝では強打の難敵・森川を下して父の仇をさらした形。両者の決勝は高木の攻めを加藤がしのぐ展開。デユースを繰り返した長いゲームを加藤が取ってリードし、5-3からのサーブレスをキープして決着。その瞬間「よしっ」と右拳を握り締め、家族に「強いパバをアピール。随所に迫力のある攻防を見せた好試合だった。表彰式の加藤、「いやあ、足つってますよ」とさすがに疲れた様子。

<市民大会成績>

[一般男子単 東・参加25人]

高木亘を下す

優勝=加藤 智之(ととも)
準優勝=高木 亘紀(テニス協会)
第3位=八百山浩幸(チーム愛牧)
森川 繁(チーム愛牧)

[シニア単 東・参加2人]

優勝=高木 淳子(テニス協会)

[一般男子複 B・参加10組]

久米・鈴木初V逃す

優勝=川西秀夫・高島基裕(MATC)
準優勝=久米孝幸・鈴木愛高(愛牧・BRIO)
第3位=森 重彰・稲垣将樹(伴野接骨院)
岡庭 誠・加藤 勳(TBM)

[一般女子複 B・参加3組]

3ペアのリーグ戦制し

優勝=稲垣陽子・橋本明子
準優勝=藤垣朱美・増岡依子

[ミックス B・参加6組]

川西母子ペア初制覇

優勝=川西健太・川西育子(MATC)
準優勝=梅村和久・加茂冷子(MATC)
第3位=藤田隆博・藤田由佳(フリー)
石川 均・石川千里(ロング・ロング・ロング)



混複優勝の川西母子組(前左)、準優勝の梅村・加茂組(前右)、3位の藤田夫妻組(後右)と石川・石川組(後左)

[高校男子複 A・参加34組]

優勝=水野慶司・鈴木拓夢(長久手)

準優勝=松原周勢・森下慎悦(窯業)
第3位=湊谷隼士・米川大貴(窯業)
西 航人・寺西航輝(瀬戸西)

[高校女子複 聖霊高・参加38組]

優勝=小黑江莉果・人見理恵(聖霊)
準優勝=大島早紀・山田真菜(聖霊)
第3位=今枝佑紀・原 美裕(聖カピタニオ)
佐々木結友・森本 菜(瀬戸北)

佳作=『血中テニス 高濃度』(森末 陸さん) 借しくも入選逃す

シニア単、高木V2
創設の昨年は7人が出場したシニア単(男子60歳・女子50歳以上)、今年には2人。前年覇者の高木淳子対同3位・林浩次の一発決勝は、高木が林の技を封じて6-1で快勝、2連覇を果たした。



華やか総合開会式
市民大会総合開会式は午前8時から約1時間、陸上競技場で開かれた。炬火点火、主催者・来賓挨拶、選手宣誓、表彰など華やか。テニス協会は協会の下、高木会長、林、松元副会長の稲垣、鈴木、久米、近藤の各理事ら計7人が参加し写真。

加藤 智之



男子単2度目優勝の加藤(前右)、準優勝の高木(前左)、3位の八百山(後右)と森川(後左)

<一般男子単 戦績>



<シニア単> 高木淳子(テニス協会) 6-1 林 浩次(テニス協会)

<一般男子複 戦績>



◆奪取ならずシニア単で敗れた林は高木の優勝トロフィーを賭けての番外セカンドセットを挑んだが5-7で返り討ちに遭った。

◆今年も祝勝会? 川西家は男子複、ミックスでメダ

ル3個。昨年は金・銅1で祝勝会だったとか。今年はずっと盛大? 同じテニス一家の高木家は金・銀1。傷む東ツギハギ修理さ

れた東コート。引っかけたり滑ったり。ケガが心配。



シニア単2連覇の高木淳子

男子複V2の川西・高島(前右)、準優勝の久米・鈴木(前左)、3位の森・稲垣(後右)と岡庭・加藤(後左)



女子複優勝の稲垣・橋本組(左)と準優勝の藤垣・増岡組(右)



年	[優勝]	[準優勝]
2000	高木 順	鈴木隆太
2001	日比野 有	菅野英男
2002	富士和仁	石田裕勝
2003	加藤智之	高木 順
2004	近藤峰夫	橋爪秀樹
2005	奥村孝二	橋井泰夫
2006	日比野 有	藤井泰夫
2007	高木 順	日比野 有
2008	奥村孝二	水野健一
2009	奥村孝二	高木 順
2010	高木 順	八百山浩幸
2011	高木 順	八百山浩幸
2012	奥村孝二	村松裕次
2013	八百山浩幸	奥村孝二
2014	加藤智之	高木 巨紀

〔市民大会一般男子単 近年の決勝〕

会報100号記念 バボラが喜ぶ?名訳標語『Tennis runs in our blood』

<ミックス 戦績>



<女子複リーグ 戦績>



同僚対決は親孝行組

千頭君、ジュニア・デ杯へ自信

9月・メキシコで「Vめざす」と決意

小牧・養高校1年の千頭(ちが)ちか(み)昇平君は名古屋守山区が、9月にメキシコで開かれるジュニア・デビスカップ世界大会男子16歳以下の国別対抗戦に出場する。



力合わせ好成績をジュニアデビスカップ出場で小牧市役所を訪れた千頭君。「日本はチーム力が高い。選手が力を合わせれば、いい成績を挙げられる」と意気込みを語る。

7月初め、小牧市役所を訪れた千頭君は、「日本代表として責任感を持って戦い、優勝をめざします」と力強く意気込みを語った。

千頭君は中学3年だった今年1月、香川での全国選抜中学大会で4強入り。4月、地元・東山でのプロへの登竜門・MUFJジュニア大会で見事優勝。

春にマレーシアで開かれたジュニア・デ杯世界大会のアジア・オセアニア地区予選に出場。韓国を破り、日本の優勝に貢献した。地区1位で出場する世界大会に自信をみなぎらせている。

千頭君は「目標は錦織選手」と

ナダル全仏初5連覇

9度目の優勝

全仏男子はナダル、女子はシャラポワが制した。男女の全豪覇者(ワウリンガ、李娜)が初戦敗退。女子第1シード・セレンも2回戦敗退。男子第9シード・錦織圭は左脚不安のまま出場したが初戦敗退。男子決勝はナダルがジョコビッチを下して初の5連覇。自己の持つ最多優勝記録を9とした。4大大会14勝目。波乱の女子はシャラポワがルー・モニアの2歳ハレブを2-1で下して2年ぶりの度目の優勝。

ナダル

シャラポワ

<男子単 準々決勝以降>

①ナダル	31
⑤フェレール	30
23モンフィス	30
⑦A・マリー	30
⑥ベルディハ	30
⑧ガルビス	30
⑧ラオニッチ	30
②ジョコビッチ	30
31	
36	
75	
62	
64	

<女子単 準々決勝以降>

ムグルサ	21
⑦シャラポワ	21
⑭スアレスナバロ	21
⑯プシャール	20
27クズネツォワ	20
④ハレブ	20
⑩エラニ	20
28ロビッチ	20
21	
64	
67	
64	

女子・シャラポワ2度目



2年ぶり2度目Vのシャラポワ



全仏初・V5を達成したナダル

「東京オリンピックで金メダルをとりたい」と夢を膨らげていた。訪問を受けた山下市長は、「夢に向かって頑張ってほしい」と励ました。

錦織・青山・奈良を表彰

日本テニス協会は2013年度最優秀選手として錦織圭と青山修子を表彰した。錦織は13年全仏4回戦進出などが評価され3年連続受賞。青山は昨年全英女子4強入りで初受賞。最躍進賞には今年2月のリオ・オープンでツアー初優勝した奈良くるみが選ばれた。

◆デルポトロがジャ・ベン・ペン出場男子のツアー大会、楽天ジャ・ベン・オープン(9月29日)東京有明に昨年優勝したデルポトロがダブルセンションが出来る。また、ダブルスで4大大会15度優勝のボブとマイクのプライアン兄弟(米)の出場も決まった。

◆女子の43歳・22位の伊達公子は全仏最年長白星をめざしたが、第24シードの22歳・パブリュチエ・ニコラ(台)に敗れ、4年連続初戦負け。土居美咲も第28シード・ベトコビッチ(独)に敗退。45位・奈良くるみがタチシビリ(米)を下して元女王・第6シードのヤンコビッチ(セルビア)に3度目の挑戦。「足と頭のテニスで第1セット5-4としたが、以降9ゲームを連取されて5-7、0-6で屈した。女子複は外国勢と組んだ伊達組、青山修子組が1回戦を突破したが、ともに2回戦で敗れた。

◆日本勢に厚い「予選の壁」予選に挑んだ日本勢はダニエル太郎、杉田祐一、女子の尾崎里紗、瀬間詠里花、日比万葉、江口実沙が初戦敗退。森田あゆみ、穂積絵莉は2回戦で敗れ突破者ゼロ。

男子決勝は第1シード・ナダルが第2シード・ジョコビッチに3-1で逆転勝ち。直近ジョコビッチに4連敗のナダルが第2セット以降、回り込みフオアを多用して積極的な攻めに転じ、3セットを連取した。女子決勝は第9セトをタイプブレで落としたシャラポワが最終セット4-1の接戦から2ゲームを連取。これでハレブには4戦全勝。男子複はベネト・ロジルベルセラ(組)、女子複は謝淑薇(台湾)・彭帥(中国)組がともに初優勝。

◆3度目の正直 奈良 奈良 日本勢の単は4人。4度目出場は錦織は59歳・24歳クリサンズロバキアと初戦。動きに精彩を欠く錦織は第1セット5-3でリードしながらタイプブレで失った後は1-6、2-6の完敗。初の初戦敗退に「早めの勝負を挑んだが左脚に痛みが来、動き回れず何もできなかった」と振り返る。

左脚痛・錦織走れず 初の初戦敗退

ナダル14勝目・2位

全英 フェデラーに3年ぶり2度目V 辛勝

全英男子単は第1シード・ジョコビッチ(セルビア)が第4シード・フェデラー(スイス)をファイナル6-1、4で下し、11年以來3年ぶり2度目の優勝。4大会7勝目。錦織圭は初の16強入りしたが4回戦でラオニッチに敗退。女子は全仏に続き波乱。上位シードが消え、クビトバ(チエゴ)とプシヤール(カナダ)の決勝はクビトバが圧勝。同じく3年ぶり2度目V。

女子 長身左腕・クビトバも3年ぶり



3年ぶり2度目優勝のジョコビッチ



2度目Vを喜ぶクビトバ

世界1位に返り咲く
男子単決勝はジョコビッチが6-1、6-4、7-6、5-7からファイナル。サービスキープが続いた第10ゲーム、フェデラーのサーブをブレイクして決着をつけた。3時間56分。これで対戦成績はジョコビッチの17勝18敗。ジョコビッチは約9か月ぶりに世界ランク1位を奪回。「台風の目はデミトロフ」

男子単決勝はジョコビッチが6-1、6-4、7-6、5-7からファイナル。サービスキープが続いた第10ゲーム、フェデラーのサーブをブレイクして決着をつけた。3時間56分。これで対戦成績はジョコビッチの17勝18敗。ジョコビッチは約9か月ぶりに世界ランク1位を奪回。「台風の目はデミトロフ」

プシヤール力尽きる
女子単は24歳182センチ左腕の強サーブ強いフォアが武器のクビトバと、20歳・フォアの強打を左右に打ち分け、守りも光るプシヤール。過去クビトバの1勝。クビトバがフォアの強打で攻め抜き、相手の3倍以上のウイナー28本。55分ですべて優勝。プシヤールは準決勝で全仏準優勝のハレブを倒したが、4大会初の決勝で力尽きた。

李娜は2回戦、セレンは3回戦、全仏女王のシヤラボワは4回戦で敗れた。

錦織8強逃す ラオニッチに逆転負け

世界12位・第10シードの錦織は1回戦で67位・203センチの長身強サーバー・デシヤール(仏)に20本のサービスエースを許したが、自分のサービスを確実にキープし、6-4、7-6、7-5で下して3年連続初戦突破。2回戦は予選上がり136位・21歳のクドラに6-1、3-6、2-6、6-1の完勝。初の16強入りかけた3回戦はラッキー・ルザーのボレリに大苦戦。3

日がかかりでファイナルセット6-4の辛勝。
4回戦の相手は過去2戦2勝のラオニッチ。いきなりブレイクに成功して第1セットを6-4で先取したが、第2セット以降を1-6、6-7、3-6で失い逆転負け。
196センチの長身からの2000*を超す高速サーブに食らいつたが計35本のサービスエースを決められた。1995年



青山組3回戦で涙
女子複の奈良・ベック組は1回戦負け。伊達・ストリコバ組は2回戦敗退。青山・ポロコバ(チエゴ)組は3回戦で敗れた。優勝はエラニ・ピンチン(伊)組で4大会全制覇を達成。
混復の青山・シヤラン(インド)組は初戦敗退。
森田ら本戦出場ならず
日本勢で予選突破は伊藤と杉田。内山靖崇、守屋宏紀、森田あゆみ、徳積絵莉、尾崎里紗、江口美沙、日比万葉は2回戦敗退。添田豪、ダニエル太郎、瀬間諒里花は初戦で敗れ、本戦入りはならなかった。

準いす 全仏・全英

国枝、上地が連勝

全仏準決勝の部は男子単
第1シード・国枝慎吾(三三
ク)がウデ(仏)を6-4、6
1-2で下して4年ぶり5度目
の優勝。
女子単も第1シードの上
地結衣(全イ)がオランダ
選手に7-6、6-4で競
り勝つて4大会初制覇。

「聖地」フランクフルトで観戦する松元さん



見てきました ウィンブルドン

副会長・松元一彦さん 「がんばれ！ 錦織、杉田」

イギリス旅行中の7月4日、ウィンブルドン2日目を観戦に行きました。当日券に3時間並んでやっと17時半ごろ入場、3時間ほど楽しみました。錦織が初戦突破、杉田は連続タイブレーク敗。男女単2試合を間近で見て、サーブの速さ、決め球の正確さを実感。脚力が勝敗の大きな要因と感じました。ヘンマンビル(またはマレービル)の大画面も見、会場の雰囲気もたつぷり味わってきました。

全英後で第1シードの国枝
・ウデ組は初戦の準決勝で
オランダ・イギリスペアを逆
転。決勝も第2シードのオラ
ンダペアに5-7、6-0、6
1-3で逆転勝ちし、2連覇。
女子第1シードの上地・ホ
ワイリ(英)組は決勝、オラ
ンダペアに勝つたあと、決勝で
第2シードのオランダペアに
2-6、6-2、7-5で競
り勝つて優勝。上地は日本
女子として初優勝。

中川組は準決勝敗退

全英・シニア男子単で第9
シード・中川直樹(福岡・柳
川高)は1、2回戦を勝つて
3回戦へ進んだが米国選手
楽しく森林練習会



森林練習会。川西・樋口(手前)―梅村・高木(奥)の熱戦

6月8日(日)は夏の森林
公園練習会。今回はハード
コート2面まで午前9時から
午後1時までの短縮型。参
加者は例年よりやや少な
く12人。梅雨入り後だっ
たが運よく好天。緑の中、
練習やゲームを楽しんだ。

「クイズ3Q」
Q1 全仏準決勝の優勝賞金は
165万ユーロ。全英準の優
勝賞金はおよそいくら？
①2億3千万円 ②2億8
万円 ③3億円以上
Q2 世界ランクで日本女
子最高位の22歳・奈良く
るみ。彼女の所属は名古屋
の会社。その名は？
Q3 6月、日本テニス協会
常務理事に選
ばれた女性
はだれ？
Q4 全仏準決勝
勝の4歳

に3-6、6-7で敗れた。第
15シード・山崎純平(むさし
の村)は1回戦でオランダ選
手に1-6、2-6の完敗。
男子複の松村亮太郎(長野
地球環境高)・山崎組は1回
戦を突破したが、2回戦で第
2シードのフランスペアに4-
6、6-7で敗退。オランダ選
手と組んだ中川が健闘。4強
入りしたが、準決勝で第3シ
ードのブラジルペアに3-6、
7-5、2-6で屈した。
◆東海高校総体テニス(男子
団体)③名経大市郎、名古屋
▽単①千頭昇平(菅)女子
団体①名経大高藤②愛知
啓成▽複①林彩子・宮田み
ほ名経大高藤②二井葉月
・佐野結花(愛知啓成)③大
矢希・平松詩菜(名経大高
藤)▽単①大矢希②林彩子
◆日進市連盟・春季女子複
▽1位クループ①小境陽子
梅村奈美子②日比恵都子
立野和子③松木平恵美社
本千枝▽2位同①大島美香
・鈴木まゆみ②寺田ひとみ
・児玉美幸③竹田綾子・本田
美鈴
◆名古屋グリーン6月女子
複GIII 1位①大谷照美・
長谷川洋子②本千枝・木
村恭子③西部淑子・大島美
香▽2位①遠藤公子・浦
西純子

◆パートナーが走らされたらセンターカバーだ
ダブルスには、パートナーが打って、自分が見ている
時間がある。うまい人は、この時間を予測とカバーリング
に充てている。心構えとして大事なことは、パートナーが
打っている時でも、自分が打っているつもりで、次のボール
がどこに来るかを予測してカバーリングすることだ。
パートナーがコート外へ追い出されたら、戻ってくるま

ダブルス 勝てるコツ
で1人でコートを守るつもりでセンター寄り立つてカバ
ー。走らされた人は、カバーリングの時間や、自分が戻
る時間を稼ぐために高い軌道で返球しよう。走った勢い
で強打してしまうと、その一打で決まればよいが、返され
た時にカバーリングが間に合わなくなってしまう。
ロブは「バックアウトアウト覚悟で上げろ」という。浅くなる
のはNGだが、せめて高く上げて時間を作りたい。

◆STK会員募ります
瀬戸市テニス協会(STK)は会
員を募集中です。初年度入会金
1000円、10年会費3000円。
次年度からは年会費のみ。市内
在住・在勤者は入会費のみ。大
会出場料が原則無料に。月4回
の練習会。年2回の森林練習会
などに参加OK。市外の方も初
年度4000円で入会できます。

会報「STK」
業務部発行。1998年本
格創刊。原則隔月。第10
号まで藤田俊幸、以降は近
藤峰夫が編集を担当。部数
約200。会員に無料郵送。
◆2か月のレイニス教室、6
月中旬終了。続いて26人のナ
イター教室がスタート。森林練
習会は参加12人と少なかった
が梅雨時、半日楽しめた。
○：寝不足の元・全英・ジュニア
チとフレアラーが4時間の死闘
芝を食って「最高の味とシヨヨ」。
錦織には8強に残ってほしかった
が...。女子は上位が消えトクピ
トバ。男女とも3年ぶり2度目
V。本紙推奨のフシヤールはラン
ク7位にアップ。10入りしたの
で、推奨を解除します。(近藤)

〈次号は9月〉